

安全データシート

新規作成 : 1993年12月16日

改訂 : 2024年 4月12日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : AT-1

供給者情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門: 技術本部 安全環境品質保証部
問い合わせ窓口: 機能商品事業部 (電話番号: 03-5600-1488(代表))

推奨用途 : シルバーマスター、シルバーディジプレート印刷インキ用添加剤
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない又は分類できない

健康に対する有害性: 皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (呼吸器、肝臓)
環境に対する有害性: 水生環境有害性 短期 (急性)	区分1
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2

ラベル要素



感嘆符

健康有害性

環境

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (呼吸器、肝臓)
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。

環境への放出を避けること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 この製品を扱うときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気のよい場所でだけ使用すること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学品名又は一般名 : インキ添加剤
 成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
ロジン変性フェノール樹脂	既存	—	40-46
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	(2)-422	112-34-5	23
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	(7)-172	9036-19-5	23
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	(7)-172	9016-45-9	7.5

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入の可能性は少ないが、大量のミストを吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動してください。異常を感じた場合は、医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合 : 接触すると炎症をおこすことがあります。直ちに石鹸を用いきれいな流水で洗い流してください。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察を受けてください。

眼に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗い、炎症が残っているようでしたら医師の診察を受けてください。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続けてください。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診察を受けてください。水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませて、直ちに医師の手当を受けてください。意識があっても無理に吐かせないようにしてください。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
 使ってはならない消火剤 : 水
 特定の消火方法 : 禁水、灯油火災と同様の扱いをして下さい。
 保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用して下さい。
 風上から消火活動を行って下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
 火気厳禁にし、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、

安全帽、長袖保護服、保護長靴など)を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。

環境に対する注意事項：

火気厳禁にし、ごく少量の場合は、ぼろ布やウエスを用いて拭き取ってください。量が多い場合も、保護具を着用し砂又は不燃性吸収剤などを使用して回収してください。漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

砂又は不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収してください。回収した液を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：眼や皮膚に接触すると炎症を引き起こすことがありますので適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋）を着用し取扱ってください。

局所排気・全体換気：強制換気による換気を行ってください。

注意事項：取扱いは十分な換気のもとで行ってください。

保管：換気の良い場所で保管してください。容器を密閉しておいてください。

施錠して保管してください。

涼しい場所に置いてください。

引火性がありますので火の気のないところに保管してください。

子供の手の届くところには置かないでください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置等 強制換気による換気を行ってください

管理濃度 安衛法管理濃度：未設定。

許容濃度：日本産業衛生学会 記載なし

ACGIH

ジェチレングリコールモノブチルエーテル TWA 10ppm

保護具：呼吸器 保護マスク

手 保護ゴム手袋

眼 保護眼鏡

皮膚及び身体 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粘彫な液体

色：薄黄色

臭い：若干あり

pH (at 25°C)：-

沸点：未確認

融点：<-4°C

可燃性：引火性液体

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし

引火点：142°C

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

蒸気圧：無視できる程度

相対ガス密度：データなし

動粘性率：データなし

密度及び／又は相対密度：1.95-1.05(at 25°C)

溶解度：水に不溶。石油系溶剤に可溶。

オクタノール／水分配係数：データなし

粒子特性：非該当

1 0. 安定性及び反応性

- 反応性 : 通常の取扱い条件下では安定である。
 化学的安定性 : 通常の取扱い条件下では安定である。
 危険有害反応可能性 : 特になし
 避けるべき条件 : 高温、直射日光
 混触危険物質 : 特になし
 危険有害な分解生成物 : 特になし

1 1. 有害性情報

急性毒性 : 実測値はないが、成分から推定した値では2000mg/Kg (ラット経口) 以上。

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

- ・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2 A

- ・ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分 2 A
- ・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル 区分 2 A
- ・ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル 区分 2 A

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報が少なく分類できない

生殖細胞変異原性 : 情報が少なく分類できない

発がん性 : 情報が少なく分類できない

生殖毒性 : 区分 2

- ・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (麻酔作用)

- ・ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分 3 (麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (呼吸器、肝臓)

- ・ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分 1 (呼吸器、肝臓)

誤えん有害性 : 情報が少なく分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

- ・ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分に該当しない
 魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 1300 mg/L
 甲殻類 (オオミジンコ) の48時間EC50 > 100 mg/L
 藻類 (セネデスマス) の96時間EC50 > 100 mg/L (いずれもEU-RAR, 1999)
- ・ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル 区分 1
 藻類 (セレナストラム) の96時間EC50=0.21mg/L (CERI・NITE有害性評価書 (暫定版)、2006)
- ・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル 区分 1
 甲殻類 (ミシッドシュリンプ) の48時間LC50 (NPE9、分岐型) = 0.71-2.2 mg/L (環境省リスク評価第7巻, 2009)

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 2

- ・ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル 区分 1
 急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いものの (BCF<31 (既存化学物質安全性点検データ))、急速分解性がない (BODによる分解度 : 22% (既存化学物質安全性点検データ))

・ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル 区分2

急速分解性がなく、魚類（ファットヘッドミノー）の7日間NOEC（成長）（NPE9）=1 mg/L
（NITE初期リスク評価書，2005）

残留性・分解性：製品データなし

生体蓄積性：製品データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：分類できない

（モントリオール議定書の付属書に記載される物質は使用していない）

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当しますので、河川、下水等にそのまま排出することはできません。（非水溶性です。）本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、運搬、処理を委託してください。

汚染容器及び包材：内容物を完全に除去した後に処分してください。

1 4. 輸送上の注意

自動車、鉄道輸送は消防法による。

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。

国連番号：UN3082

国連分類：クラス9（有害性物質）

容器等級：III

1 5. 適用法令

安衛法：通知対象物質 ジエチレングリコールモノブチルエーテル（含有量 23%）

（2026年4月1日以降）ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル

（2026年4月1日以降）ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル

化管法：第1種指定化学物質 ジエチレングリコールモノブチルエーテル（管理番号627）

ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル

（管理番号408 ポリ（オキシエチレン）=アルキルフェニルエーテル（アルキル基の炭素数が8のものに限る。））

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル

（管理番号410 ポリ（オキシエチレン）=アルキルフェニルエーテル（アルキル基の炭素数が9のものに限る。））

毒劇法：非該当

化審法：優先評価化学物質 ジエチレングリコールモノブチルエーテル（2-（2-ブトキシエトキシ）エタン-1-オール）

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル（ α -（ノニルフェニル）- ω -ヒドロキシポリ（オキシエチレン））

危規則：有害性物質

消防法：危険物第4類第3石油類（非水溶性）

海防法：海洋汚染物質

1 6. その他の情報（引用文献等）

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム（CHRIP）」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の実取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。